

## 海自入隊予定者の厚木基地OB訪問

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は11月29日（金）、試験に合格し海上自衛隊入隊予定となった桐蔭横浜大学の3名に対し、海上自衛隊厚木基地見学を実施した。海上自衛官の仕事の間近で見学してもらい、海上自衛隊航空部隊の仕事について理解を深めてもらう機会と、今年度入隊した2名の大学OB訪問が実現した。

すがわらけいすけ ながさとらゆづせ

職場見学では、大学OBの先輩隊員、菅原圭一士と長里竜生一士が出迎えてくれた。先輩隊員の職場訪問に最初は緊張した様子の3名であったが、大学時代の話で次第に打ち解けていった。その後は入隊前の準備や教育隊での生活についてなど、3名から様々な質問があり、先輩隊員たちは自身の経験を踏まえて真摯に回答していた。航空機の格納庫内見学で間近に航空機を見上げると「予想以上の大きさです」と3名とも大きさに驚いていた。USH-60K整備担当の隊員から機体について説明も受け、短い時間ではあったが航空部隊の仕事について理解してもらえたようだった。また、米軍と共有で使用しているフードコートやグラウンドなどの施設も見学した。その際、フィットネスセンターで現役米軍隊員と出会うと、3名は鍛え上げられた身体に目を丸くしていた。米軍隊員は気さくに写真撮影に応じてくれ、笑顔での記念撮影となった。

市ヶ尾募集案内所は「大学OBの訪問が実現できたことは、入隊への強い意欲の後押しになると感じた。また海上自衛隊の航空部隊を理解してもらえる貴重な見学会だった。これからも合格者たちの不安払拭に努め、確実に入隊へとつなげていきたい」としている。



フィットネスセンターで出逢った米軍隊員のたくましさに驚いた3名



USH-60K前で記念撮影



米軍と海自が共用利用している基地内フィットネスセンター前

## はたらく車大集合～in横浜市民防災センター～にて広報活動

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林一陸尉）は、12月1日（日）、横浜市（神奈川区）の横浜市民防災センターで開催された「はたらく車大集合～in横浜市民防災センター～」において自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行った。

本企画は、横浜市消防局神奈川消防署から依頼を受け、横浜出張所として初めて参加したものである。

当日は天候にも恵まれ多くの市民の方が来場した。広報ブースでは、車両等の装備品展示のほか、迷彩服の試着等を行い地域住民との交流を図った。特に野外電話機を使用した通信体験は、固定電話が減少している近年、携帯電話やスマートフォン世代の子供たちにとっては珍しい体験となった。また、災害派遣活動パネル展示では、先の台風被害による災害派遣も相まって、自衛隊の活動に対する非常に多くの感謝と慰労の言葉が多く聞かれた。

横浜出張所は、「今後も、関係諸官庁等と密接に連携して、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。



日体大チアリーダー部も迷彩服で記念撮影



まるで指揮官みたい？